

# バイク旅地中海 (ニース~フィレンツェ)

2011.05.11~18

## 旅ルートマップ

昨年に続きヨーロッパのバイク旅に出かけた。パリトゴール空港から国内便でニースへそして、

- 第一ステージ ニース~エズ~サンレモ~インペラ~サンバルトロメオ・アルマーレ (99km)。
- 第二ステージ サンバルトロメオアルマーレ~フィナーレリーグレ (昼飯) ~サヴォーナ (ここから電車) ~ジェノバ (66km)。
- 第三ステージ ジェノバ (電車) ~ラ・スペツィア~ピサ (77km)。
- 第四ステージ ピサ~ルッカ~アルトバーショ (昼飯) ~ヴィンチ (ここから電車) ~フィレンツェ (90km)。
- 第五ステージ フィレンツェ~フィエーソレ アルノ川沿いのポタリング



それにしてもパリトゴール空港は広い。



今回の参加メンバー、これからのバイク旅の安全を頼みながら使用前の面々。外観は立派だが内装はほとんどもない PARADIS と言うホテル、でもニースはこんなところが多いとか。おそろいのバイクウェアは大西さんからのプレゼント、どうもです。



高台からニースの街を一掃、これぞ地中海！コートダジュールだあ！



「エズ」属の集村と言われる岸壁に囲まれた要害が点在する中に入ると石に囲まれた壁の集村の部屋と迷路に戸惑う。



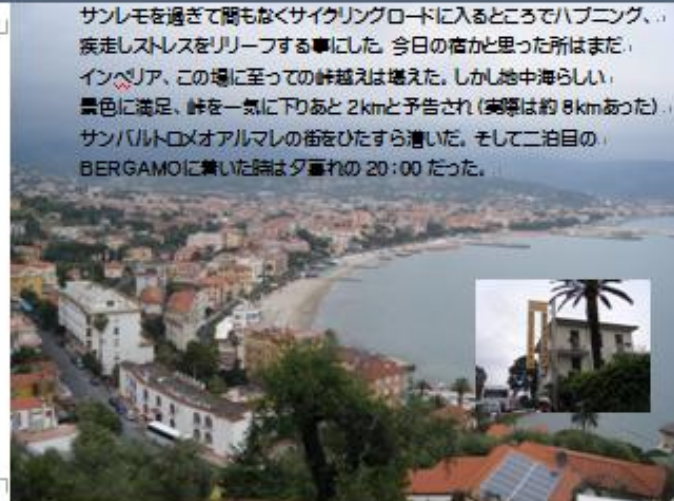
モナコは熱海を大きく豪華にした様な街だった。F1 が開催される準備がされており街中はガードレールで覆われていた。速くには大型客船がハーバーには豪華ヨットがびっしり停泊していた。



フランスからイタリアに入る。案はこの看板があるだけ。これがヨーロッパでの国境の概念らしい。



音楽祭が開かれるところ」としか知らない「サンレモ」、街並みの雰囲気だけでも伝わっている。この辺から鉄道の線路が消えサイクリング道路に変身している、廃線かな？



サンレモを過ぎて間もなくサイクリングロードに入るところでハブニング、疾走しストレスをリリーフする事にした。今日の宿かと思った所はまだインペリア、この場に至っての峠越えは堪えた。しかし地中海らしい景色に満足、峠を一気に下りあと 2km と予告され (実際は約 8km あった)。サンバルトロメオアルマーレの街をひたすら漕いだ。そして二泊目の BERGAMO に着いた時は夕暮れの 20:00 だった。



ホテルも飯も○だった、  
今日も天気は○だ、  
時差ボケも取れてみんな快調○



海岸沿いのこんな感じの道が続く、街はほとんど



ライグエーリアと言うリゾート海水浴場だ、露店が並び、  
チョットのはずの小休止が大の？休止になったりして、



ファイナーリーグして昼食 海沿いのリゾート地の様だ、  
パスタ、スパゲッテ ムール貝、アザリがどっさり！



海岸にそって岸壁と砂浜の道が繰り返し続く世界、  
であった。  
肌寒くゆっくりの走るにはちょっと寒い気温だったかな、



岸壁の絶景にしばし脚を止めた、そして思わず口が開く、



絶妙のタイミングで自らがリンクを演じ電車の旅に誘導？、  
おかげ？でジェノバ着は 18:00 と良い感じ、  
夕飯に期待しよう、



さすがに歴史を感じさせる貿易港ジェノバ、駅前広場も  
豊厚な感だ、



今晚の宿は駅前の VITTORIA 由緒あるホテルだとか、  
部屋は天井が高く豊厚で歴史を感じさせられる、



今晚は肉料理... 毎日メニューを変え企画してくれる若手さんがいる。  
 先ずビール！これが常識？？そして赤だ、白だワインが次々やってくるのが良い。  
 その中でひたすらガス入りウォーターをオーダーしている人もいた。



夜のジェノバ旧市街地を散歩する事となった。世界遺産だとか、  
 さして歴史は知らないが歴史の雰囲気を感じるに余りある。



ジェノバからの第三ステージは電車で始まった。  
 ピサまでは海岸から離れるルートである事と、距離的にも長く、  
 観光にいらなくなるので電車で距離を稼ごう(これも又よし)。



ラ、スペツィアから今日のサイクリングは始まった。  
 海岸沿いのリゾート地が切れ目なく続いた。



あの山は何だろう！  
 多分着たろうか！  
 この辺はサイクリストも多い。



ホントに良い感じで走った一時期、これぞサイクリング！  
 この地でしか味わえないであろう地中海の雰囲気！



海岸の景色から別れを告げ斜塔で有名なピサの街に入った。  
 いきなり観光地！人が多い。



一生懸命支えました。  
 だから倒れませんでした。



今日の魚料理も、ワインもいけたネ。



第四ステージの朝は出だしから雨模様。大した雨ではないが、うっとうしい。田舎道で車は少ない。峠を越えても田舎風景はしばらく続いた。



城壁で囲まれた街ルッカを観光  
ローテンベルグとは全く違う雰囲気だ。



城壁の広さは2km四方程度はあろうか。



雨が再び降り出して来た。黙々と走るしかない。この後ハブリングが起こった。



ハブリングも美しい庭に終りアルトバーショで昼食。  
始めてみる面白い形のガラス製のワインの計量器？  
お土産にゲット26ユーロ？高いか安いかな？



雨上がりの田舎道をダビンチの生誕地に向け進む、路面が悪く気が抜けない。



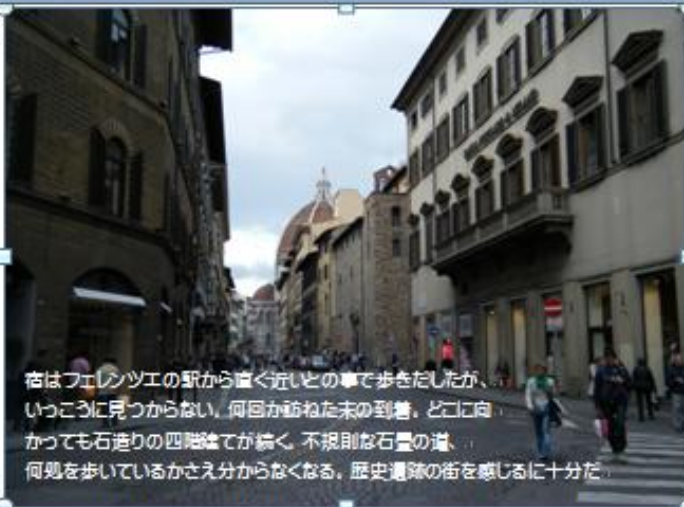
ダビンチはあっちだよ。



ダビンチの生誕地はこの奥丘の上だったが、その手前の資料館で引き返す、また雨が降り出した。



ここから電に乗る事とした。  
電車のバイク置き場はつり下げ式だった。



古はフィレンツェの駅から直ぐ近いとの事で歩きたしたが、  
いっごに見つからない。何回か訪ねた末の到着。どこに向  
かっても石造りの四階建てが続く。不規則な石畳の道、  
何処を歩いているかさえ分からなくなる。歴史遺跡の街を感じるに十分だ。



今宵は中華でした。  
青島ビールも紹興酒もありました。



今日はポタリング(毎日?)で フィエーソ先に見えれ丘に向かう。



丘の上からはフィレンツェの街が一望できる。



紀元前後の神殿、円形劇場等、  
遺跡が点在する。



アルノ川沿いを遊ってみた。  
長閑な雰囲気になった。



サンタマリアデルフィオーレ大聖堂付近の広場は世界の観光客  
で埋め尽くされている。



橋の上に商店が連なるヴェッキオ橋の外側と内側、  
宝石店がすらりと軒を並べている。



最後の晩餐は豚肉2kgの丸焼きだった。  
事故が無かった事を喜びあった。



豪族メテチ家の教会建築物の中は撮影禁止だった。  
外観には無い豪華で群やかな大理石、宝石、  
ミケランジェロの彫刻等凄い。



フェレンツエを離れる余韻をかみしめて。



フェレンツエから再びパリにもどり帰国の途に